



第29回日本脳神経外科コンgres総会
モーニングセミナー MS2-4

SPECT最前線

診療に役立つ機能画像

—SPECTによる高次脳機能障害の診断—

2009年5月16日(土) 7:20-8:20

第9会場 大阪国際会議場 10階 1009

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51

座長

峯浦 一喜 先生

(京都府立医科大学 脳神経外科 教授)

演者

中川原 譲二 先生

(中村記念病院 脳神経外科 診療本部長)

共催

第29回日本脳神経外科コンgres総会・日本脳神経核医学研究会・日本メジフィジックス株式会社

SPECT最前線 診療に役立つ機能画像 —SPECTによる高次脳機能障害の診断—

脳血管障害を含む脳損傷による記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害は『高次脳機能障害』（行政的）と呼ばれ、精神障害者保険福祉手帳の対象として認定されるが、MRI等で脳の器質的病変の存在が明らかではない症例の認定が社会的に問題となる。そこで、もやもや病発症後や脳外傷後に『高次脳機能障害』と診断された症例のIMP SPECTおよびIMZ SPECTに対して統計画像解析を用いた研究が行われた。その結果、IMZ SPECTにおいて両側前頭葉内側（前部帯状回を含む）に皮質神経細胞の脱落領域が同定されることが、『高次脳機能障害』に特徴的であることが示された。もやもや病では前方循環の長期にわたる血行力学的脳虚血により両側前頭葉に不完全脳梗塞が生じる可能性が、脳外傷では並進加速度・回転加速度により両側前頭葉内側皮質に細胞脱落が生じる可能性が示唆された。本セミナーでは、診療に役立つ最新の機能画像が紹介される。

中村記念病院
脳神経外科 診療本部長

中川原 譲二

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

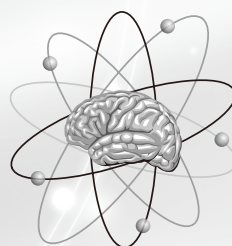
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN